

## ～ 新任医師のご挨拶～



神経内科部長  
亀山 隆

当院神経内科の初代部長の榊原敏正神経内科部長の定年退職に伴い、このたび後任として4月より赴任いたしました。前任地の岐阜県立多治見病院は岐阜県東濃地域の中核病院で、そこで多くの貴重な臨床経験を積むことができました。この経験を生かして当地での地域医療の質の向上と、かかりつけ医の先生との医療連携の発展に努める所存です。神経内科の病気は脳卒中、認知症やパーキンソン病などの老化に関係した病気や完治できない病気が多いですが、私は障害があっても「生きる力をひき出す」医療を心がけたいと思います。



心療内科  
臼井 幸治

始めまして、東邦大学心療内科から中部労災病院心療内科に出向にきました臼井と申します。心療内科では主に、ストレスや悩みなどの心理的な問題によって起こる身体の病気(症状)を診る科です。ストレスがかかった場合、「こころ」「からだ」は互いに関連し合い、様々な症状を引きおこします。そうした患者様のお役にたてるよう診察では可能な限り時間をかけて診察するように心がけています。御用の際は遠慮なく受診して下さい。一年間という短い期間ではありますがどうぞ宜しくお願い申し上げます。



整形外科  
小川 義和

今年の4月から中部労災病院に勤務しています。昨年は田舎の病院にいたので名古屋市内に移り環境もかなり変わりました。扱う疾患も今までとやや異なり脊椎関連の患者さんが多く私自身も勉強になっています。この地域の医療に多少なりとも貢献できるよう努力していきたいと思います。宜しくお願いします。



耳鼻咽喉科  
佐野 壘

みなさんはどんなときに耳鼻咽喉科を受診しますか? 耳痛、難聴、鼻水や鼻血、嚔声などが多いですね。思い浮かべる病気は中耳炎、難聴、花粉症、副鼻腔炎、声帯ポリープなどでしょう。最近はさらに鼻、頬、口、あご、耳下腺、甲状腺、のどの癌もよく治療します。首にしこりができた、食事がのどにひっかかる、顔面が腫れた、口の中にできものができた、口内炎や舌の傷がいつまでも治らないときは迷わず耳鼻咽喉科を受診してください。

★「フィリア・レター」は、中部ろうさい病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。